

日本共産党 小平市議団 ニュース号外

党小平事務所電話042-343-3590



三輪博美
(厚生委員会)

070-2806-7832



鈴木だいち
(総務委員会)

070-2166-6260



ほそや正
(環境建設委員長)

070-5462-4498

小平市議会3月定例会トピックス

2月20日から3月26日で定例会は閉会しました。前回の小平市長選挙を経て、議会がオール与党化（自民党小平政和会、市議会公明党、フォーラム小平、生活者ネットワーク等）しているもと、日本共産党小平市議団は市民の暮らし・福祉・教育を第一に考え、一般会計予算、国保会計、他に反対をしました。各会派の賛否についても報告します。

「2026年度小平市一般会計予算」党市議団は反対！

- ・市長2期目最初の予算編成、予算規模は前年度比5.3%増、951億円と過去最大。
- ・予算の中身の特徴としては、中央エリア整備計画（当初44億→123億円）をはじめ小平第十一小の複合化（当初50～60億円→約80～90億円※4月の説明会では108億円に！）など「公共施設マネジメント推進計画」費用の増大、小川駅西口地区市街地再開発事業（当初183億円→252億7800万円）、小川駅西口地下自転車駐車場整備事業（当初11億円→約38億円）& 暫定歩行者デッキ（9366万円）など自民党型の大型開発・ハコモノ優先施策が財源の多くを占めている。

日本共産党小平市議団は、日毎に厳しさを増す市民の暮らしを支えるための予算となっていないことから反対を表明。

賛否 反対：日本共産党小平市議団、一人会派の会と維新の会、まちづくり市民こだいら

賛成：自民党小平政和会、市議会公明党、フォーラム小平、生活者ネット、れいわ新選組

→賛成多数で可決される

「2026年度小平市国民健康保険事業特別会計予算」党市議団は反対！

- ・医療保険分所得割額だけで一人当たり年額5,500円（約2割増）の引上げ。
- ・4人家族（子ども2人）の平均モデル世帯では、年額2万2千円の引上げ。
- ・国保加入者の多くは前期高齢者、フリーランス、社会保険に加入していない個人事業主、無職の人など所得の低い人たちであり、さらに大きな負担を強いることになる値上げはすべきではないことから、日本共産党小平市議団は反対を表明。

賛否 反対：日本共産党小平市議団、一人会派の会と維新の会、まちづくり市民こだいら

賛成：自民党小平政和会、市議会公明党、フォーラム小平、生活者ネット、れいわ新選組

→賛成多数で可決される

「小平市国民健康保険条例の一部を改正する条例」党市議団は反対！

・一人平均年額として8,890円(8.3%)の値上がり。

なお、2年前の税率改定では一人平均年額5,946円(6.45%)。

・今回の改定から、国が子ども施策に使うという名目で「こども・子育て支援金」という制度を導入。国保の医療保険分に上乗せする形で徴収され、一人当たり平均月額約340円の負担増。

・国保財政への一般会計からの繰入は国がいう「赤字」ではなく、必要な社会保障制度であること、これ以上の一般会計からの繰入を削減することは、生活苦や受診抑制・医療控えを招くことにつながることから、日本共産党小平市議団は反対を表明。

賛否 反対：日本共産党小平市議団、一人会派の会と維新の会、まちづくり市民こだいら

賛成：自民党小平政和会、市議会公明党、フォーラム小平、生活者ネット、れいわ新選組

→賛成多数で可決される

「小平市立保育園における乳児等通園支援事業の利用者負担額に関する条例」党市議団は反対！

・「こども誰でも通園制度」が4月から本格実施するにあたり、公立保育園での料金を1時間300円にする条例。都内在住者は東京都の施策により実質、無料。

・国の制度設計の立ち遅れにより、市の条例提案の時期も遅すぎ、現場に混乱を与えること、また国の料金設定の根拠が示されず、全国で試行実施をした保育施設の7割が赤字での運営となっていることから、日本共産党小平市議団のみ反対を表明。

→賛成多数で可決される

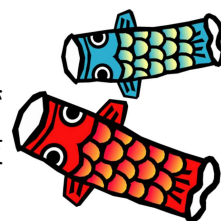
「特定公園施設の買入れについて」党市議団は反対！

・6億円以上かけ整備した中央公園グラウンドの人工芝を、市が指定管理者である「パークコネクトグループ」へ整備をした対価として6億840万円を支払って買い付ける契約。

・人工芝化されたグラウンドを市が買取ることは市のゼロカーボンシティ宣言の理念に反していること、多目的エリアの「侵入防止柵」の設置については市民意見をほとんど聞かぬまま推し進められていることから、日本共産党小平市議団は反対を表明。

賛否 反対：日本共産党小平市議団、まちづくり市民こだいら

賛成：自民党小平政和会、市議会公明党、フォーラム小平、一人会派の会と維新の会、生活者ネット、れいわ新選組 →賛成多数で可決される



党市議団の要求で実現！

「低所得者・被保護者世帯へのエアコン設置に係る緊急支援」

3月議会の三輪議員の一般質問では生活保護世帯(障害・住民税非課税世帯も含む)へのエアコン設置補助制度の実施を求め、質問で取上げ要望しました。そのことを受け、市は3月議会最終日に急遽、補正予算を提案し、全会一致で可決されました。

1世帯当たり1台まで10万円補助、申請期間は5月1日から10月末までとなっています。

市議団ニュースについて、その他、ご意見・ご要望をお寄せください！